

楽習講師企画講座

食育教室

保存の利く万能野菜のジャガイモ。小腹が空いた時にもぴったりな簡単おやつレシピについて紹介します。

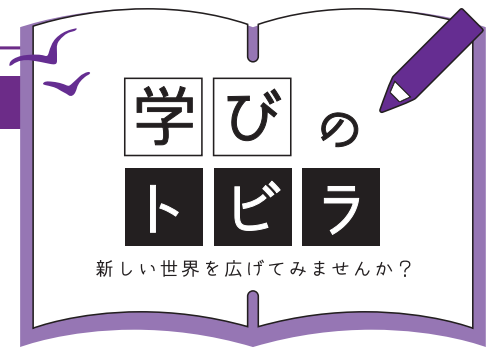
- ▶日時 6月20日(土) 10:00~12:00
- ▶会場 佐野清澄高等学校
- ▶対象 小学生以上
- ▶講師 佐野清澄高等学校生徒（食物調理コース）
- ▶定員 先着20人
- ▶費用 500円
- ▶持ち物 エプロン、バンダナ

申込方法

事前に、電話またはメールにて生涯学習課にお申し込みください。

☎ 20-3109

Mail s-gakusyu@city.sano.lg.jp



郷土博物館企画講座など

藍染講座「佐野藍でハンカチを染めよう！」

市内で栽培された藍でハンカチを染めます。

- ▶日時 7月26日(日) 14:00~16:00
- ▶会場 郷土博物館
- ▶講師 風間幸造さん（栃木県伝統工芸士）
- ▶定員 20人
- ▶費用 1,800円
- ▶持ち物 エプロン、汚れてもよい服装、靴
- 申込 6月9日(火)から専用フォームまたは電話にて郷土博物館 ☎ 22-5111

※一度にお申込みいただけるのは2人まで



図書館だより

- 佐野図書館 開 9:00~19:00 (休) 月曜日 ☎ 22-1833
- 田沼図書館 開 9:00~18:00 (休) 火曜日 ☎ 61-1136
- 葛生図書館 開 9:00~18:00 (休) 月曜日 ☎ 86-3416

佐野

環境月間「ゼロカーボンシティさの展示」

環境月間にちなんで、環境に関する本を展示します。

- ▶日時 6月2日(火)~30日(火)
- ▶協力 気候変動対策課・環境政策課



田沼

佐野市図書館巡回展示

「税に関する絵はがきコンクール」

市内の小学生が描いた作品と税に関する図書を展示、貸し出しします。

- ▶期間 6月24日(水)まで

「セラピードッグと絵本を楽しもう！」

お子さんがワンちゃんに絵本を読み聞かせる特別なおはなし会です。

- ▶日時 6月20日(土) 14:00~15:30
- ▶会場 田沼図書館
- ▶定員 小学生9人とその保護者
- 申込 6月4日(木) 9:00~電話または直接田沼図書館


吉澤記念美術館 (料) 一般520円ほか ☎86-2008

(開) 9:30~17:00 (休) 毎週月曜日

セットでたのしむ絵画と工芸 (後期)

絵画や工芸作品には、しばしば複数の画面やモチーフがセットとなって成立するものがあります。セットならではの面白さや工夫を楽しむ展覧会です。

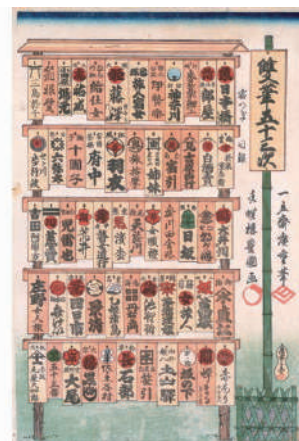
▶会期 6月21日(日)まで

▶休館情報 6月22日(月)~7月17日(金)は、
くんじょう 燻蒸・展示替えのため休館

▶無料開館 6月14日(日) 栃木県民の日
 作品鑑賞会(14:00~)を実施します。



▲歌川国貞・歌川広重《双筆五十三次》より「日本橋」1854年
 寄託(吉澤コレクション)



▲歌川国貞・歌川広重《双筆五十三次》より「目録」1857年
 寄託(吉澤コレクション)

葛生伝承館 (料) 無料 ☎84-3311

(開) 9:00~17:00 (休) 毎週月曜日

「五月人形展」開催中

鯉のぼりや兜、祝掛け軸などを多数展示しています。

▶会期 6月21日(日)まで

▶休館情報 6月22日(月)~7月10日(金)は、展示替
 えのため休館

※7月11日(土)から「吉澤人形頭展」を開催予定



◀白馬

郷土博物館 (料) 一般220円ほか ☎22-5111

(開) 9:00~17:00 (休) 毎週月曜日

テーマ展「佐野の遺跡」

3年以上前から人々が暮らした佐野の魅力を旧石器時代から奈良・平安時代までの遺跡と出土品で紹介します。日本最大級の上林遺跡の環状集落や初公開となる植野城跡の出土品も展示します。

▶会期 6月28日(日)まで



◀市指定文化財
 出流原遺跡出土 弥生土器

葛生化石館 (料) 無料 ☎86-3332

(開) 9:00~17:00 (休) 毎週月曜日

佐野市のマンガン鉱物

化石館の展示室の展示ケースの中に置かれたピンク色の石。よく見ると、しま模様も見えます。これは市内で産出した鉱石で、ピンク色の部分は「バラ輝石」と呼ばれるマンガン鉱物です。かつてはマンガン電池の材料として、市内でも採掘されていました。

▶休館情報 6月27日(土)~7月5日(日)は、
くんじょう 燻蒸・展示替えのため休館



◀マンガン鉱石

人間 田村耕一陶芸館 (料) 無料 ☎22-0311

(開) 9:00~17:00

「田村耕一の四季」

今展は、初期の半抽象画的な梅花の大皿から最晩年の鷺をモチーフとした優品まで40点を選抜し、その背景にある春夏秋冬という日本の四季を意識した中で構成を試みました。

▶会期 6月14日(日)まで

※6月19日(金)から「田村耕一 ゆうやく 釉薬の上と下で」を開催予定



青磁鉄仙文壺▶